

日本文理大学 産学連携ポリシー

日本文理大学は、「産学一致」を建学の精神として開学して以来、地域の産業界に貢献できる人材を輩出してきました。その後、変化の激しい社会において、地域とともに発展する立場をより明確にするため、創立 40 周年を機に教育理念として、建学の精神である「産学一致」に加え「人間力の育成」および「社会・地域貢献」を制定し、産学官民連携推進センターを設置しました。

本学では、この「産学一致」の建学の精神を実現し、地(知)の拠点(Center Of Community: COC)として地域の産業界とともに発展していくために、以下の産学連携ポリシーを定めます。

1. 地(知)の拠点としての機能を有する大学として、地域の産業界等との積極的な連携に努め、地域の発展に貢献します。
2. 地域の産業界等と連携し、受託研究や共同研究を積極的に推進し、奨学寄付金や学外競争的研究資金の獲得による教育・研究活動の充実をはかります。
3. 産学連携活動を通じて社会の動向についての情報を収集し、その成果を教育・研究活動に還元することで、地域の発展に貢献できる人材を育成します。
4. 産学官民連携推進センターを中核として、人間力育成センター、進路開発センター等と密接な協力をすることで、全学的な産学連携活動を推進します。
5. 高い透明性と公平性を持つ産学連携活動を行うために、法令および本学規程を遵守することで、十分な説明責任を果たします。
6. 産学連携活動を通じて得られた研究成果については、知的財産として保護することにより、積極的にその有効活用をはかります。

2015 年 8 月 26 日

日本文理大学